

## 一生勉強、一生青春

何のために学ぶのか、何のために働くのかを考えてみよう

林 明夫

(公益社団法人 経済同友会  
「学校と経営者の交流活動  
推進委員会」運営委員)

### 1. はじめに 本日の出張授業の目的

- (1) 「何のために働くのか」、「働く意義」について、私の経験を通してのお話を聞いて頂くことで、皆様に考えてもらうこと。
- (2) 「何のために働くのか」、「働く意義」について考えながら、「何のために学ぶのか」、「学ぶ意義」についても皆様に考えてもらうこと。
- (3) 「働くとは何か」、「学ぶとは何か」を考えながら、「進路」や「人生」について自分の力で考えてもらうこと。
- (4) 「一所懸命」に「一つの所で命を懸けるくらい熱心に」お話いたしますので、どうか皆様も真剣にお聴き下さい。おしゃべりや居眠りは絶対にしないよう、予めお願いします。

### 2. 自己紹介 私の仕事、私の活動

- (1) 開倫塾、塾長。 (栃木県、群馬県、茨城県)
- (2) 学校法人有朋学園、有朋高等学院、理事長。 (福島市)
- (3) 宇都宮大学大学院工学研究科、客員教授。作新学院大学、客員教授。 (宇都宮市)
- (4) マニー株式会社(手術用縫合針製造)顧問、(前社外取締役)。  
(宇都宮市、ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン)
- (5) 社会福祉法人両崖福祉会、特別養護老人ホーム清明苑、理事。 (足利市)

- (6) 栃木県教育委員会、栃木県社会教員委員。 (栃木県)
- (7) 社団法人 栃木県生産性本部、常任理事。
- (8) 足利商工会議所、議員 (足利市)
- (9) 開倫ユネスコ協会、会長。栃木県ユネスコ連絡協議会、会長。 (栃木県)
- (10) 公益社団法人経済同友会、幹事。社団法人栃木県経済同友会、幹事。群馬県経済同友会、会員。福島県経済同友会、会員。社団法人茨城県経営者協会、会員  
(東京都、栃木県、群馬県、福島県、茨城県)
- (11) CRT ラジオ栃木放送「開倫塾の時間」毎週土曜日 9:15 ~ 9:25 一人で担当、25 年目。  
(栃木県、群馬県、茨城県)
- (12) 読売新聞栃木版コラム「とちぎ寸言」、日本経済新聞土曜版日経プラス「ニュースにチャレンジ、教えて先生」担当。 (栃木県、全国)
- (13) 1 つ 1 つの仕事や活動には、それぞれ目的・「社会的使命」があります。その目的・「社会的使命」をはっきり意識、自覚しながら、その達成のためにそこに集う皆さんといっしょに最善の努力をするようにしています。
- (14) これらの仕事や活動の経験を通じて考えた「働く意義」を、今からお話いたします。

### 3 . 「何のために働くのか」 「働く意義」

- (1) すべての仕事には、お客様(顧客)がいます。  
いろいろな仕事について、誰がお客様(顧客)なのかを考えてみましょう。  
仕事をする上で大事なものは、誰がお客様なのかをはっきりさせる、明確にする、定義づけること。
- (2) 仕事とは、お客様のお役に立つこと。  
お客様のお役に立つとは何かを考えてみましょう。  
お客様のお役に立つとは、お客様の困っている問題を解決すること、お客様の問題解決。(何がお客様の困っている問題なのかを知ることが大事です。)  
お客様の困っている問題を解決しなければ、お客様の問題解決にならなければ、仕事をしたことにならない。(お客様の困っている問題をどのように解決するかを考えることが大事です。)  
お客様のお役に立つことで、社会のお役にも立ちます。社会のためにもなるのが仕事。

ただし、法律や社会のルールに反することは犯罪行為、反社会的行為であって、仕事ではありません。ルールの中でのプレイが、仕事には求められます。そこで大切になるのが、何が法律で禁止されている犯罪行為なのか、社会のルールなのかをよく知ること。法律違反やルール違反をしないことが大切です。

(3) 何のために働くのか 働く意義

生活できるだけの収入を得るため。

お客様のお役に立つため、社会のお役に立つため。

仕事を通して自己実現するため

(4) 人は死んだ後、後の世に何が遺せるか 内村鑑三著「後世への最大遺物」岩波文庫

お金

仕事、事業

著作、作品

教育

生き方(ああ、あの人はあのような「生き方」をしたなという「生き方」)

\* 皆様は死んだ後、何を遺しますか

4. 「何のために学ぶのか」、「学校で学ぶ意義」は何か。

(1) 中学校で勉強していることは役に立つのか。

高校や大学、短期大学、専門学校、大学院で役に立つのか。

仕事や社会的な活動で役に立つのか。

社会での生活に役に立つのか、一生涯役に立つのか。

(2) 学校での教科・領域の勉強はすべて役に立ちます。

国語 社会 数学 理科 音楽 美術 技術家庭 保健体育 英語  
選択教科 総合学習 道徳 特別活動

(3) 学校での教科外の教育活動もすべて役に立ちます。

朝の学活

清掃活動

午後の学活

生徒会活動

部活動(野球、サッカー、バレーボール女子、バスケットボール男子・女子、剣道、ソフトボール、ソフトテニス、陸上、科学、美術、音楽・吹奏楽など)

年間学校行事(入学式、始業式、体育祭、三市大会、修学旅行、非行防止教室、文化祭、新人大会、校内マラソン大会、スキー教室、3年生を送る会、新入生一日入学、終業式、卒業式、定期テストなど)

#### (4)日本の学校教育の特長

教科の教育は世界トップクラス

教科外の教育も世界トップクラス

先生方は教育熱心。生徒はよく勉強する。保護者も教育熱心。社会の教育への関心も高い。

ただ、問題点があるのも事実。

#### 5. 将来についてゆっくり考えよう

(1)何のために高校に進学するのかを考えよう。

(2)高校に進学して何をするのかを考えよう。

(3)高校を卒業した後、どうするのか。大学・短期大学、専門学校に進学するのか、就職するのかを考えよう。

(4)学校を卒業した後、どうするのかを考えよう。

(5)仕事に就くとしたら、どのような仕事がしたいのかを考えよう。

(6)どのような人生を送りたいのかも考えよう。

#### 6. これからの仕事・職場や社会で求められる能力とは何か。

(1)これからの社会は知識<sup>ちしき</sup>基盤<sup>きばん</sup>社会。

「知識・情報・技術を用いる能力」が求められる。

(2)これからの社会は国際化社会。

「多様な集団で交流する能力」が求められる。

(3)これからの社会は課題の多い少子・高齢化や地球温暖化社会。東日本大震災や大津波・原子力発電所事故も発生。

「<sup>じりつ</sup>自律的に交流する能力」が求められる。

(4)以上の(1)~(3)の能力を身につける前に身につけたほうがよい能力。

学び方を学ぶ能力(勉強の仕方)を身につけること。

(ア)「理解」(ああこれはこういうことなのかと納得すること)

- ・授業をよく聞く
  - ・ノートをよく取る ノートが取れるのは大事な能力
  - ・わからないことばが出てきたら、どんどん辞書で調べる。調べたことをノートにメモし、繰り返し読み直してことばの意味を覚える。
- \*辞書で調べられるのも大事な能力。

(イ)「定着」(「理解」したことをすべて覚える、身につける)

- ・「音読練習」
  - ・「書き取り練習」
  - ・「計算・問題練習」
- 「定着のための三大練習」\*「練習は不可能を可能にする」

(ウ)「応用」

- ・テストでよい点を取る
- \*「テストは何のためにあるのか」を考えよう。それまで勉強してきたことをもう一度学び直し、正確に身につけるために、テストはある。
- ・社会で役に立てる

「読書による<sup>しりよ</sup>思慮深さ」を身につける

(ア)読書により身につくのは思慮深さ。自分自身をふりかえる力。深くものごとを考える力。

(イ)本はゆっくり、何回も読もう。(6回)

(ウ)気に入った文章に出会ったら「書き抜き読書ノート」に書き写し、何回も読み返そう。

(エ)図書室や図書館をどんどん活用しよう。

「新聞を<sup>ひはんできしこう</sup>読んで自分で考える力、批判的思考能力」を身につけよう。

(ア)新聞は社会の番犬(watch dog)、社会の問題点や課題を記者の目で伝えてくれるもの。その新聞を毎日、一面からじっくりと読み込み、世の中(戸田市、埼玉県、日本、世界)では何が起きているかを自分の力で考える力を身につけよう。

(イ)目の前で発生している事柄がもしかしたらおかしいのではないのかと考える力、批判的思考能力を、新聞を読んで身につけよう。

(ウ)「スクラップブック」(切り抜きノート)を作ろう。

## 7. おわりに

(1) 中学校時代の友達は一生の友達。中学校時代の先生は一生の恩師。友達や先生方と仲良くし、一生に一回しかない中学校生活を大切に過ごしてください。

(2) 自分のよさを自分で探し、自分の力でどんどん伸ばすこと。

家族や近所の人、友達、戸田中学校のよさを探そう。戸田市、埼玉県、日本のよさも探そう。

あまり自分を責めないこと。家族や友達、いろいろな人も責めないこと。自分でされたり言われたりして嫌なことは、他人にもしないこと、言わないこと。相手の心や立場を思いやること。

\* ただし、自分のため、みんなのために言わなければならないことは言う。(丁寧な言葉でわかりやすく。)

躰しつけを身につけよう。

(ア) 美しい立居振舞い

(イ) 敬語表現を含む言葉遣い(です・ます調で話せること)

「5S」(整理、整頓、清掃、清潔、躰)も大事。5Sの「躰」とは、誰に言われなくても自分の意思でできること。

(3) 元気なあいさつが一番。

「ありがとうございます」「ごめんなさい」「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ってきます」「ただいま」「いただきます」「ごちそうさま」

\* 人間関係がよくなったときは、元気にあいさつをし続けるといつかきっと、またもとのように仲良くなれることも多い。

(4) 健康第一(身体の健康・心の健康)

タバコは吸わないこと。

お酒も飲まないこと。

(5) 私の好きなことば

「一生勉強、一生青春」(相田みつを先生)

「会った人は、皆友達」(石川洋先生)

「ブルドッグ魂(食いついたら離すな)」(岡田忠治先生)

「練習で泣いて試合で笑え」(椎名弘先生)

「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」(ドラッカー先生)

あきらめたらおしまい。自分の未来は自分で切り開こう。自己責任。自助努力じじょ(self・helpセルフ・ヘルプ)

- がんばって下さい -

- 御清聴を感謝申し上げます -

以上